

あなたはハンドボールが好きですか？

～ “うっかり” ドーピングを防ぐために ～

日本ハンドボール協会 医事委員会
アンチドーピング特別委員会

平成 24 年度に入り、2 件の“うっかり”ドーピングにより、それぞれ3ヶ月の資格停止処分となりました。“たかが3ヶ月”と思われる方もいるかもしれませんが、本当にそれだけでよいのでしょうか？

今回、当特別委員会として、“アンチドーピングに関する意識調査”を行いました。まだ集計途中ですが、今後も“うっかり”ドーピングを起こしかねない結果が既に出てきております。途中経過を示しつつ、大会直前にむけ、ここだけはとにかく守ってほしいことを報告しますので、参考にしてください。

(途中経過ですので、最終発表とデータが変動することをお許してください)

1、サプリメントの使用には細心の注意を払う

“サプリメントを使用する”と答えた方は約3割でした。購入経路は8割が店頭販売でしたが、少数ですが“海外のものを購入”の方がいました。

サプリメントは医薬品ではなく、その成分を全て表示する義務がありません。

よって、表示されていない禁止薬物が含まれている場合が多くあるのが事実です。もし使用を希望する際は、“禁止薬物が含まれていない”と日本アンチドーピング機構（以下 JADA）により認定を受けた “JADA 認定商品マーク” の表示のあるものを使用して下さい。

2、栄養ドリンクにも禁止薬物の可能性があります

“栄養ドリンクを飲む”と答えた方は約4割でした。“禁止薬物を調べますか”に対しては2割が調べるとのことでした。8割の方が“禁止薬物が入っていると

は思っていない“と回答がありました。

栄養ドリンクは“体を元気にする”という目的があり、よって、興奮剤、漢方薬等を含んでいる場合が多くあります。また、レッドブル等もその使用には自己責任でお願いしますと言われており、我々の見解としては、使用は勧められません。

3、漢方薬の使用について

“漢方薬を使用する“と答えた方は、約1割でした。ですが、栄養ドリンク等で、知らず知らずのうちに服用している可能性があります。漢方薬の中には、興奮剤の成分（麻黄、半夏など）、ホルモン剤類似成分（鹿角など）を含むものが多数あるので、使用を控えて下さい。

4、薬剤を購入する経路について

“病院を受診し、医師の処方を受ける”と答えた方が、9割以上と大多数を占め、“安心できる”“効果が高い”“安価である”“ドーピングのことをちゃんと知っている”と言う答えが大多数でした。しかし、このなかで“ドーピングのことをよく知っている”というのは残念ながら間違いと言わざるをえません。

“一部の医師はドーピングのことをよく知っている”と言えます。実際に今年度の違反例の一例は、“医師の処方にも関わらず、禁止薬物であり、それにより処罰の対象となった”ものです。

さらに、医師の診察時に、“自分がドーピング検査を受ける可能性があると伝える”の問いに対しては、大学生では約9割が“いいえ”と答えています。必ず、医師の受診の際に“禁止薬物を調べて処方してほしい”と、言いにくいかもしれませんが伝えるようにして下さい。

また、医療行為として、どうしても使用が必要な場合もあります。そうした際には、治療目的使用に係る除外措置（以下 TUE）を申請することにより、禁止物質、禁止方法を治療目的で使用できる手続きです。医師の中には TUE の存在を知らないものもいますので、ご自身から申し出るようにして下さい。

市販薬についての説明です。市販薬の風邪薬等には“ほとんどに禁止薬物が含まれている”という認識を持って下さい。“風邪薬＝からだの力を向上させる（滋養強壮）”という概念があります。よって、風邪薬の中には興奮剤が入っている可能性が非常に高いです。チームの常備薬を使用するならば、チームトレーナーと一緒にもう一度禁止薬物が入っていないか JADA のホームページで検索、薬局で購入するならば、必ず薬剤師に確認（薬局の店員が全て薬剤師という訳ではありません）するようにして下さい。

その上で、使用前にもう一度、JADA のホームページで確認して下さい。または、日本ハンドボール協会まで問い合わせて下さい。

こうした点をわすれて、それに気がついた際、必ずチーム責任者に相談して下さい。“禁止薬物を誤って摂取し、これを申告すれば処罰は免れる”という設問に対し、約 6 割の方が“免れる”と答えていましたが、結論から言えば“免れることはできません”。試合出場し、検査対象となり、検出されれば、たとえ申告していても処罰の対象となります。ですので、登録メンバーから外す必要があります。このような際は、必ず、日本ハンドボール協会まで問い合わせて下さい。

ここまで、大会直前での“うっかり”ドーピングへの防止策を述べて参りました。すべてのドーピング対策には不十分ですが、大会直前期は最低でも以上のことをお守りください。たかが“うっかり“ドーピングと思われているかもしれません。ですが、あなたのハンドボール人生を全て失う”うっかり“ドーピングといえます。日本リーグの選手（特に日本代表）の中には、”市販薬、漢方薬、サプリメント、栄養ドリンクには全て禁止物質が入っていると考え、現役中は一切飲まないと決めている“”医師に確認して処方してもらい、さらに自分で確認する“と徹底している我々の求める理想の選手もいました。

もう一度、最後にお聞きします。

あなたはハンドボールが好きですか？

皆さんが精一杯取り組まれたハンドボールを失わないために、自分で自分を守って下さい。